

(平成15年) 7月31日(木曜日)

孔子と孟子の銅像設置

鳥取県

東郷・燕趙園 松江の会社社長寄贈



燕趙園に設置する孔子像(左)と孟子像(右)

鳥取県は、同県東郷町・燕趙園に中国を代表する思想を
 引地の中国庭園・燕趙園に孔子と孟子の銅像を
 設置する。松江市の会社
 社長から寄贈を受け、近

く台座工事に着工して十
 月上旬の完成を目指す。
 同園では、「中国の雰囲気
 を十分に堪能してもら
 える」と喜んでいる。
 銅像は、小松電器産業
 (松江市乃木福富町)の
 小松昭夫社長(五九)が、日
 中国交正常化三十周年を
 記念、中国山東省棗荘市
 で造った四体のうちの二
 体。棗荘市は、大戦中に
 鳥取、島根両県民で構成
 する松江第六三連隊の兵
 士約千人が戦死した場所
 で、鎮魂の意味も込めた。

寄贈を受けた同県が、
 孔子と孟子の一番映える
 場所として、燕趙園に白
 羽の矢を立てた。場所は、
 多目的広場・集粹館と園
 内を結ぶ中庭で、東郷湖
 を背にして二体を並べ
 る。銅像は、孔子が高さ
 二・三メートル、孟子が二・三
 五メートルで、両方とも最大幅
 〇・八五メートル。約三百万円
 を掛けて一辺一・一メートル、
 高さ〇・八メートルの台座を建
 設し、像を安置する。
 小松社長は、「鳥取県
 は環日本海交流に力を入
 れており、最も適地に置
 いてもらえることになっ
 た」と喜んでいる。